

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第6区分  
 【発行日】令和4年11月4日(2022.11.4)

【国際公開番号】WO2020/127037  
 【公表番号】特表2022-515576(P2022-515576A)  
 【公表日】令和4年2月18日(2022.2.18)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-030  
 【出願番号】特願2021-555889(P2021-555889)  
 【国際特許分類】  
   B 6 5 D 8/02(2006.01)  
   B 6 5 D 17/34(2006.01)  
   B 6 5 D 47/36(2006.01)

10

【F I】  
 B 6 5 D 8/02           A Z A B  
 B 6 5 D 17/34  
 B 6 5 D 47/36 2 0 0

【手続補正書】  
 【提出日】令和4年10月26日(2022.10.26)

20

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

好ましくは、飲料用缶として、および/または、バルク材料のための貯蔵コンテナとして構成される、缶のための缶の蓋(10)であって、

少なくとも1つの蓋パネル(12)であって、前記少なくとも1つの蓋パネル(12)は、  
 好ましくは、前記蓋パネル(12)の外側円周方向縁を前記缶の外側壁に圧着することによって、前記缶の上側を区切るように構成され、前記蓋パネル(12)は、それを通して前記缶に存在する物質が注ぎ出され得る少なくとも1つの注出開口部(14)を有する、少なくとも1つの蓋パネル(12)と、

30

前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部から外方を向く、前記蓋パネル(12)の上側に配置される作動要素(16)と、

前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部に面する前記蓋パネル(12)の下側に配置される閉鎖要素(18)であって、前記閉鎖要素(18)は、前記作動要素(16)を用いて誘導様式で実質的に平行移動して前記蓋パネル(12)に沿って、前記閉鎖要素(18)が液密および/または気密様式で前記注出開口部(14)を閉鎖する閉鎖位置と、前記注出開口部(14)が少なくとも部分的に被覆されていない開放位置との間で偏移可能である、閉鎖要素(18)と

40

を備え、

前記閉鎖要素(18)および前記作動要素(18)は、金属材料、好ましくは、アルミニウム材料またはブリキから作製され、

前記閉鎖要素(18)および前記作動要素(16)は、接続を用いて、相互に締結され、前記接続は、前記閉鎖位置から前記開放位置への前記閉鎖要素(18)の偏移の間に前記蓋パネル(12)内のガイドスロット(34)に沿って移動し、

前記接続の面積内の前記作動要素と前記閉鎖要素との間の距離は、固定されるおよび非可変であるうちの少なくとも一方である、缶の蓋(10)。

50

## 【請求項 2】

前記接続は、リベット接続および/または溶接接続である、請求項 1 に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 3】

リベット接続として構成される前記接続は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) または前記作動要素 ( 1 6 ) に形成されるリベットリップ ( 5 2 ) によって形成され、前記リベットリップ ( 5 2 ) は、前記 2 つの要素 ( 1 6 、 1 8 ) のうちの他方の対応するリベット開口部内に配置される、請求項 2 に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 4】

前記リベット開口部は、突出部 ( 5 4 ) を通して、好ましくは、前記蓋パネル ( 1 2 ) の下側の方向に突出する前記作動要素 ( 1 6 ) の突出部 ( 5 4 ) を通して延在し、

前記突出部 ( 5 4 ) は、好ましくは、前記開放位置および/または前記閉鎖位置で、少なくとも部分的に前記ガイドスロット ( 3 4 ) を通して延在する、請求項 3 に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 5】

少なくとも 1 つの平面的表面 ( 5 6 ) が、前記ガイドスロット ( 3 4 ) を通して延在する領域内で前記接続上に形成され、

前記少なくとも 1 つの平面的表面 ( 5 6 ) は、前記蓋パネル ( 1 2 ) の縁に面し、前記縁は、前記ガイドスロット ( 3 4 ) を区切る、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 6】

前記缶の蓋 ( 1 0 ) は、少なくとも前記閉鎖要素 ( 1 8 ) の閉鎖位置で、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) と前記蓋パネル ( 1 2 ) との間に配置される、少なくとも 1 つのシール ( 4 4 ) を有し、

前記シール ( 4 4 ) は、好ましくは、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) の上側に形成される溝 ( 5 8 ) 内に少なくとも部分的に受容され、

および/または

前記シール ( 4 4 ) は、好ましくは、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) の外縁を用いて前記閉鎖要素 ( 1 8 ) に固定され、前記外縁は、前記シール ( 4 4 ) の中に、および/または前記シール ( 4 4 ) の一区分にわたって屈曲される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 7】

前記シール ( 4 4 ) は、アンダーカット ( 6 2 ) を有し、

および/または

前記溝 ( 5 8 ) 内に受容される前記シール ( 4 4 ) の一部の断面は、前記溝 ( 5 8 ) の断面よりも小さい、請求項 6 に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 8】

前記蓋パネル ( 1 2 ) および/または前記閉鎖要素 ( 1 8 ) は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) が前記閉鎖位置から前記開放位置に偏移されるときに最初に被覆解除される、前記注出開口部 ( 1 4 ) の一部に隣接して配置されるかまたはそれを区切る切り欠き ( 4 0 ) またはエンボスを一部に有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 9】

前記蓋パネル ( 1 2 ) は、均圧開口部 ( 4 2 ) をさらに備え、前記均圧開口部 ( 4 2 ) の断面は、前記注出開口部 ( 1 4 ) の断面よりも小さく、

前記均圧開口部 ( 4 2 ) は、前記閉鎖位置では、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) によって液密および/または気密様式で閉鎖され、前記開放位置では、少なくとも部分的に被覆されておらず、

前記均圧開口部 ( 4 2 ) は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) が前記閉鎖位置から前記開放位置に偏移されるときに、前記注出開口部 ( 1 4 ) に先立って被覆解除されるように配置される、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 ) 。

## 【請求項 10】

前記開放位置では、空気チャネル(48)が、前記閉鎖要素(18)と前記蓋パネル(12)との間に形成され、前記空気チャネル(48)の第1の端部は、前記蓋パネル(12)の上側において、および/または、前記注出開口部(14)の端部領域において開放し、前記端部領域は、前記蓋パネル縁から外方を向き、前記空気チャネル(48)の第2の端部は、前記閉鎖要素(18)の端部領域における前記蓋パネル(12)の下側において開放し、前記端部領域は、前記注出開口部(14)から外方を向く、請求項1~9のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)。

## 【請求項 11】

前記作動要素(16)は、前記閉鎖要素(18)との接続が形成される少なくとも1つの締結区分(22)と、前記開放位置と前記閉鎖位置との間の偏移の目的のための握持のために構成されるそれに接続されたハンドル区分(20)とを有し、

前記ハンドル区分(20)は、好ましくは、前記ハンドル区分(20)が前記蓋パネル(12)および/または前記締結区分(22)と略平行に配置される格納位置と、前記ハンドル区分(20)が前記開放位置と前記閉鎖位置との間の偏移のために握持可能である作動位置との間で枢動可能であり、

前記締結区分(22)および前記ハンドル区分(20)は、ヒンジを用いて、好ましくは、フィルムヒンジ(24)を用いて接続され、そのヒンジ軸は、前記ガイドスロット(34)の縦軸に対して横方向に延在し、前記ハンドル区分(20)は、前記格納位置と前記作動位置との間の偏移のために前記締結区分(22)に対して前記ヒンジ軸を中心として枢動されるように構成される、請求項1~10のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)。

## 【請求項 12】

前記ハンドル区分(20)は、好ましくは、前記格納位置に対応する開始位置を有し、前記作動要素(16)は、最初に前記開始位置から偏移された後に、前記ハンドル区分(20)がもはや前記開始位置に戻るよう恒久的に偏移されることができないように構成され、

および/または  
前記作動要素(16)は、前記ハンドル区分(20)が最初に前記開始位置から偏移されるときに、塑性的に変形し、特に、恒久的におよび/または恒久的に視覚的に認識可能であるように構成される、請求項11に記載の缶の蓋(10)。

## 【請求項 13】

前記作動要素(16)は、係止区分(28)を有し、それを用いて、前記作動要素(16)は、前記閉鎖位置から前記開放位置への初期偏移に先立って、前記蓋パネル(12)上の前記閉鎖位置で係止され、

前記係止区分(28)は、好ましくは、前記作動要素(16)の下側から下向きに突出する係止要素(32)を備え、

前記係止要素(32)は、好ましくは、フックとして構成される、請求項1~12のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)。

## 【請求項 14】

請求項1~13のいずれか1項に記載の少なくとも1つの缶の蓋(10)を備える、好ましくは、飲料用缶として、および/またはバルク材料のための貯蔵コンテナとして構成される、缶。

## 【請求項 15】

好ましくは、飲料用缶として、および/またはバルク材料のための貯蔵コンテナとして構成される缶のための缶の蓋(10)、好ましくは、請求項1~13のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)を製造するための方法であって、

蓋パネル(12)を提供するステップであって、前記蓋パネル(12)は、特に、前記蓋パネル(12)の外側円周方向縁を前記缶の外側壁に圧着することによって、前記缶の上側を区切るように構成され、前記蓋パネル(12)は、それを通して前記缶に存在する物

質が注ぎ出され得る少なくとも1つの注出開口部(14)と、ガイドスロット(34)とを有する、ステップと、

金属材料、好ましくは、アルミニウム材料またはブリキから作製される作動要素(16)および閉鎖要素(18)を提供するステップと、

前記蓋パネル(12)の下側に前記閉鎖要素(18)を配置するステップであって、前記下側は、前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部に面する、ステップと、

前記蓋パネル(12)の上側に前記作動要素(16)を配置するステップであって、前記上側は、前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部から外方を向く、ステップと、

接続を用いて、前記閉鎖要素(18)および前記作動要素(16)を相互に締結するステップであって、前記接続は、前記ガイドスロット(34)に沿って移動可能である、ステップと

を特徴とし、

前記閉鎖要素(18)は、前記作動要素(16)を用いて誘導様式で実質的に平行移動して前記蓋パネル(12)に沿って、前記閉鎖要素(18)が液密および/または気密様式で前記注出開口部(14)を閉鎖する閉鎖位置と、前記閉鎖要素(18)が前記注出開口部(14)を少なくとも部分的に被覆解除する開放位置との間で偏移可能であり、

前記接続の面積内の前記作動要素と前記閉鎖要素との間の距離は、固定されるおよび非可変であるのうちの少なくとも一方である、方法。

【請求項16】

前記接続は、リベット接続および/または溶接接続である、請求項15に記載の方法。

【請求項17】

前記作動要素(16)は、係止区分(28)を備え、それを用いて、前記作動要素(16)は、前記閉鎖位置から前記開放位置への初期偏移に先立って、前記蓋パネル(12)上の前記閉鎖位置で係止される、請求項15または16に記載の方法。

【請求項18】

特に、穿孔および屈曲を用いて、前記係止区分(28)内で前記下側上に突出する領域を形成するステップと、

前記突出領域が前記ガイドスロット(34)を通して突出するように、前記蓋パネル(12)の上側に前記作動要素(16)を配置するステップであって、前記作動要素(16)は、好ましくは、前記閉鎖位置に配置される、ステップと、

続いて、特に、スライダを用いて、前記突出領域の一部を屈曲し、好ましくは、フック(32)を形成するステップと

をさらに含む、請求項17に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

本発明のさらなる利点、特徴、および詳細は、以下の好ましい実施形態の説明および図面から明白となるであろう。説明において上記に述べられる特徴および特徴の組み合わせ、および図の説明において下記に述べられる、および/または図のみに示される特徴および特徴の組み合わせは、個別の述べられた組み合わせで使用されることができただけではなく、本発明の範囲から出ることなく、他の組み合わせで、または単独で使用されることもできる。一側面の個別の特徴および特徴の組み合わせはまた、他の側面の個別の特徴および特徴の組み合わせも表す。図は、請求項の保護の範囲を限定することを意図していない。

本発明は、例えば、以下を提供する。

10

20

30

40

50

(項目1)

好ましくは、飲料用缶として、および/または、バルク材料のための貯蔵コンテナとして構成される、缶のための缶の蓋(10)であって、

好ましくは、蓋パネル(12)の外側円周方向縁を前記缶の外側壁に圧着することによって、前記缶の上側を区切るように構成される少なくとも1つの蓋パネル(12)であって、前記蓋パネル(12)は、それを通して前記缶に存在する物質が注ぎ出され得る少なくとも1つの注出開口部(14)を有する、蓋パネル(12)と、

前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部から外方を向く、前記蓋パネル(12)の上側に配置される作動要素(16)と、

前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部に面する前記蓋パネル(12)の下側に配置される閉鎖要素(18)であって、前記閉鎖要素(18)は、前記作動要素(16)を用いて誘導様式で実質的に平行移動して前記蓋パネル(12)に沿って、前記閉鎖要素(18)が液密および/または気密様式で前記注出開口部(14)を閉鎖する閉鎖位置と、前記注出開口部(14)が少なくとも部分的に被覆されていない開放位置との間で偏移可能である、閉鎖要素(18)と

を備え、

前記閉鎖要素(18)および前記作動要素(18)は、金属材料、好ましくは、アルミニウム材料またはブリキから作製され、

前記閉鎖要素(18)および前記作動要素(16)は、接続、特に、リベット接続および/または溶接接続を用いて、相互に締結され、前記接続は、前記閉鎖位置から前記開放位置への前記閉鎖要素(18)の偏移の間に前記蓋パネル(12)内のガイドスロット(34)に沿って移動する、

缶の蓋(10)。

(項目2)

リベット接続として構成される前記接続は、前記閉鎖要素(18)または前記作動要素(16)に形成されるリベットリップ(52)によって形成され、前記リベットリップ(52)は、前記2つの要素(16、18)のうちの他方の対応するリベット開口部内に配置される、項目1に記載の缶の蓋(10)。

(項目3)

前記リベット開口部は、突出部(54)を通して、好ましくは、前記蓋パネル(12)の下側の方向に突出する前記作動要素(16)の突出部(54)を通して延在し、

前記突出部(54)は、好ましくは、前記開放位置および/または前記閉鎖位置で、少なくとも部分的に前記ガイドスロット(34)を通して延在する、

項目2に記載の缶の蓋(10)。

(項目4)

少なくとも1つの平面的表面(56)が、前記ガイドスロット(34)を通して延在する領域内で前記接続上に形成され、

前記少なくとも1つの平面的表面(56)は、前記蓋パネル(12)の縁に面し、前記縁は、前記ガイドスロット(34)を区切る、

前記項目のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)。

(項目5)

前記缶の蓋(10)は、少なくとも前記閉鎖要素(18)の閉鎖位置で、前記閉鎖要素(18)と前記蓋パネル(12)との間に配置される、少なくとも1つのシール(44)を有し、

前記シール(44)は、好ましくは、前記閉鎖要素(18)の上側に形成される溝(58)内に少なくとも部分的に受容され、

および/または

前記シール(44)は、好ましくは、前記閉鎖要素(18)の外縁を用いて前記閉鎖要素(18)に固定され、前記外縁は、前記シール(44)の中に、および/または前記シール(44)の一区分にわたって屈曲される、

10

20

30

40

50

前記項目のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 )。

( 項目 6 )

前記シール ( 4 4 ) は、アンダーカット ( 6 2 ) を有し、

および / または

前記溝 ( 5 8 ) 内に受容される前記シール ( 4 4 ) の一部の断面は、前記溝 ( 5 8 ) の断面よりも小さい、

項目 5 に記載の缶の蓋 ( 1 0 )。

( 項目 7 )

前記蓋パネル ( 1 2 ) および / または前記閉鎖要素 ( 1 8 ) は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) が前記閉鎖位置から前記開放位置に再配置されるときに最初に被覆解除される、前記注出開口部 ( 1 4 ) の一部に隣接して配置されるかまたはそれを区切る切り欠き ( 4 0 ) またはエンボスを一部に有する、前記項目のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 )。

10

( 項目 8 )

前記蓋パネル ( 1 2 ) はさらに、均圧開口部 ( 4 2 ) を備え、前記均圧開口部 ( 4 2 ) の断面は、前記注出開口部 ( 1 4 ) の断面よりも小さく、

前記均圧開口部 ( 4 2 ) は、前記閉鎖位置では、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) によって液密および / または気密様式で閉鎖され、前記開放位置では、少なくとも部分的に被覆されておらず、

前記均圧開口部 ( 4 2 ) は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) が前記閉鎖位置から前記開放位置に再配置されるときに、前記注出開口部 ( 1 4 ) に先立って被覆解除されるように配置される、

20

前記項目のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 )。

( 項目 9 )

前記開放位置では、空気チャネル ( 4 8 ) が、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) と前記蓋パネル ( 1 2 ) との間に形成され、前記空気チャネル ( 4 8 ) の第 1 の端部は、前記蓋パネル ( 1 2 ) の上側において、および / または、前記注出開口部 ( 1 4 ) の端部領域において開放し、前記端部領域は、前記蓋パネル縁から外方を向き、前記空気チャネル ( 4 8 ) の第 2 の端部は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) の端部領域における前記蓋パネル ( 1 2 ) の下側において開放し、前記端部領域は、前記注出開口部 ( 1 4 ) から外方を向く、前記項目のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 )。

30

( 項目 1 0 )

前記作動要素 ( 1 6 ) は、前記閉鎖要素 ( 1 8 ) との接続が形成される少なくとも 1 つの締結区分 ( 2 2 ) と、前記開放位置と前記閉鎖位置との間の再配置の目的のための握持のために構成されるそれに接続されたハンドル区分 ( 2 0 ) とを有し、

前記ハンドル区分 ( 2 0 ) は、好ましくは、前記ハンドル区分 ( 2 0 ) が前記蓋パネル ( 1 2 ) および / または前記締結区分 ( 2 2 ) と略平行に配置される格納位置と、前記ハンドル区分 ( 2 0 ) が前記開放位置と前記閉鎖位置との間の再配置のために握持可能である作動位置との間で枢動可能であり、

前記締結区分 ( 2 2 ) および前記ハンドル区分 ( 2 0 ) は、ヒンジを用いて、特に、フィルムヒンジ ( 2 4 ) を用いて接続され、そのヒンジ軸は、前記ガイドスロット ( 3 4 ) の縦軸に対して横方向に延在し、前記ハンドル区分 ( 2 0 ) は、前記格納位置と前記作動位置との間の再配置のために前記締結区分 ( 2 2 ) に対して前記ヒンジ軸を中心として枢動されるように構成される、

40

前記項目のいずれか 1 項に記載の缶の蓋 ( 1 0 )。

( 項目 1 1 )

前記ハンドル区分 ( 2 0 ) は、好ましくは、前記格納位置に対応する開始位置を有し、前記作動要素 ( 1 6 ) は、最初に前記開始位置から再配置された後に、前記ハンドル区分 ( 2 0 ) がもはや前記開始位置に戻るよう恒久的に再配置されることができないように構成され、

および / または

50

前記作動要素(16)は、前記ハンドル区分(20)が最初に前記開始位置から再配置されるときに、塑性的に変形し、特に、恒久的におよび/または恒久的に視覚的に認識可能であるように構成される、

項目10に記載の缶の蓋(10)。

(項目12)

前記作動要素(16)は、係止区分(28)を有し、それを用いて、前記作動要素(16)は、前記閉鎖位置から前記開放位置への初期再配置に先立って、前記蓋パネル(12)上の前記閉鎖位置で係止され、

前記係止区分(28)は、好ましくは、前記作動要素(16)の下側から下向きに突出する係止要素(32)を備え、

前記係止要素(32)は、好ましくは、フックとして構成される、

前記項目のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)。

(項目13)

前記項目のいずれか1項に記載の少なくとも1つの缶の蓋(10)を備える、好ましくは、飲料用缶として、および/またはバルク材料のための貯蔵コンテナとして構成される、缶。

(項目14)

好ましくは、飲料用缶として、および/またはバルク材料のための貯蔵コンテナとして構成される缶のための缶の蓋(10)、好ましくは、項目1-12のいずれか1項に記載の缶の蓋(10)を製造するための方法であって、

特に、蓋パネル(12)の外側円周方向縁を前記缶の外側壁に圧着することによって、前記缶の上側を区切るように構成される、蓋パネル(12)を提供するステップであって、前記蓋パネル(12)は、それを通して前記缶に存在する物質が注ぎ出され得る少なくとも1つの注出開口部(14)と、ガイドスロット(34)とを有する、ステップと、

金属材料、好ましくは、アルミニウム材料またはブリキから作製される作動要素(16)および閉鎖要素(18)を提供するステップと、

前記蓋パネル(12)の下側に前記閉鎖要素(18)を配置するステップであって、前記下側は、前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部に面する、ステップと、

前記蓋パネル(12)の上側に前記作動要素(16)を配置するステップであって、前記上側は、前記缶の蓋(10)がそれに取り付けられたときに、前記缶の内部から外方を向く、ステップと、

接続、特に、リベット接続または溶接接続を用いて、前記閉鎖要素(18)および前記作動要素(16)を相互に締結するステップであって、前記接続は、前記ガイドスロット(34)に沿って移動可能である、ステップと

を特徴とし、

前記閉鎖要素(18)は、前記作動要素(16)を用いて誘導様式で実質的に平行移動して前記蓋パネル(12)に沿って、前記閉鎖要素(18)が液密および/または気密様式で前記注出開口部(14)を閉鎖する閉鎖位置と、前記閉鎖要素(18)が前記注出開口部(14)を少なくとも部分的に被覆解除する開放位置との間で偏移可能である、方法。

(項目15)

前記作動要素(16)は、係止区分(28)を備え、それを用いて、前記作動要素(16)は、前記閉鎖位置から前記開放位置への初期再配置に先立って、前記蓋パネル(12)上の前記閉鎖位置で係止される、項目14に記載の方法。

(項目16)

特に、穿孔および屈曲を用いて、前記係止区分(28)内で前記下側上に突出する領域を形成するステップと、

前記突出領域が前記ガイドスロット(34)を通して突出するように、前記蓋パネル(12)の上側に前記作動要素(16)を配置するステップであって、前記作動要素(16)

10

20

30

40

50

)は、好ましくは、前記閉鎖位置に配置される、ステップと、  
続いて、特に、スライダを用いて、前記突出領域の一部を屈曲し、好ましくは、フック  
(32)を形成するステップと  
をさらに含む、項目15に記載の方法。

10

20

30

40

50